

新入生のための 学習応援ガイド

～教科編～



平成26年4月
大牟田市立右京中学校

国語科

『国語』を学ぶ楽しさ・よさって何だろう？

『国語』は、言葉で思いや考えをはっきり伝えたり受けとめたりできるように日本語という「ことば」を学ぶ教科です。



《 国語の力を身につけると… 》

- ① ことばや漢字の意味がわかって、自分で使えるようになります。
- ② 考えたこと感じたことを、正しく伝えることができるようになります。
- ③ 深く考え、想像し、感動することができるようになります。

『国語』は、すべての教科を学ぶ基礎になる、大切な教科です。

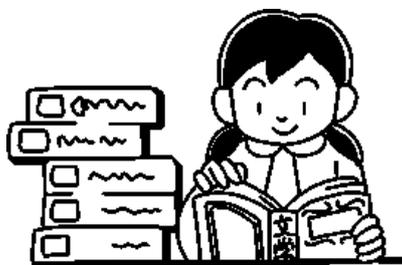
何を学習するのかな？

- 小学校で学んだことを、さらに、広く深く学習します。
- 小説や詩、説明文に加えて、古典（昔の文章や和歌）があります。
- 「話し合い活動」「スピーチ」「作文」などの表現活動に取り組みます。
- 書写もあります。

『国語』の力をつけるために、ふだん心がけることは？

読書をしよう！新聞を読もう！！

- ・本や新聞の中で、知らない世界や人物に出会い、ふだんの生活ではできない体験をし、感動することができます。
- ・読書をしたり新聞を読んだりすることで、さらに興味や関心が生まれます。「もっと勉強したい」「もっと本を読みたい」というやる気につながります。



学習した漢字や言葉をどんどん使っていこう。

- ・話したり書いたりして使えば使うほど、漢字や言葉の力がつきます。

国語の授業の流れ

- ① 新しく出てきた漢字や言葉の意味を学びます。
- ② 声に出して本を読みます。
- ③ どのようなことが書いてあるか、内容について調べたり考えたりします。
- ④ 感想や疑問に思ったことを書いたり話し合ったりします。
- ⑤ 確かめの問題をします。



授業中にしっかり考える人が、国語の力をのばす人です。

授業でのポイント

- ☆ その時間に何をするのか、「めあて」をつかみましょう。
- ☆ 自分の頭でじっくりしっかり考えましょう。
- ☆ 先生や友だちの話を聞いて、自分の考えと比べましょう。
- ☆ 書いたり発表したりして、自分の考えや意見を伝えましょう。
- ☆ ノートをあとで見直してわかるように、きちんととりましょう。
(ノートは黒板に書いてあることをそのまま書き写すだけではなく、自分の考えや大切だと思ったことは、メモをとっておきましょう。)

家庭学習のポイント

【宿題を必ずしましょう。】

【予習】

- ・教科書の文章を読んで、だいたいの内容をつかんでおきましょう。
- ・わかりにくい言葉の意味を、辞書で調べましょう。

【復習】

- ・ノートやプリントを整理して、授業をふりかえりましょう。(プリントなどをきちんとファイルにとじておく)
- ・今習っているところの漢字を書いて覚えましょう。(一点一画確かめて書く)
- ・教科書をくり返し音読しましょう。

【テスト前には】

- ・教科書を音読しましょう。
- ・授業のプリントやワークなどを見直して、問題をもう一度解いてみましょう。
- ・漢字をくり返し書いて覚えましょう。
- ・わからないことは先生や友だちに質問して解決しておきましょう。



社会科

「何だ、そうなんだ！」身近なところにも社会科！

例えば…

五円玉には、どんな願いが込められたのかな？

何のデザインかな 何をあらわしているのかな



() → 【 】

() → 【 】

() → 【 】

社会科は、私たちが、これから先の「社会をつくる力」を養う教科です。よく、「暗記教科」と思われがちですが、大切なことは、現在、世の中で行われていることや過去に行われたことに興味を持ち、その原因や問題点などをいろいろな資料を使って追究していくことです。「なぜだろう？」「調べてみよう！」「まとめをして人に伝えてみよう！」という学習を通じて考える力や資料を読み取る力、表現する技を身につけていきます。そして、君が「社会をつくる主人公」になるのです。

社会科の授業の流れ

ステップ1

興味を持つ（発見、気づき）

→発見や気づきは疑問に発展

- ペルーってどこにあるのかな。
- 帽子をかぶっているぞ。
- なぜ、マントを着ているのかな。

ペルーの子どもたち



ステップ2

考えて予想する

- 日本の近くの国かな？遠い国かな？
- 暑いから、帽子をかぶっているのかな。
- 寒いから、マントを着ているのだろう。

ステップ3

考えを確かめる（調べる）

→確かめることから新たな疑問も

- ペルーは南アメリカという地域にあるぞ。
- アンデス山脈という富士山より高いところで暮らしているようだ。
- なぜ、低いところで暮らさないのかな。



ステップ4 考えや調べたことを交流する

- 赤道の近くにある国だから低地は暑いはずだ。だから、すずしい高地で生活しているのだと思う。
- 高地の強い太陽の光から身を守るために、帽子をかぶっているのだと思う。
- マントは急に冷え込む夜にさっと着ることができて、便利だと思う。

ステップ5 社会(の見方や考え方)がわかる

- 高地という自然環境と人々の生活は結びついているんだ。暑い地域や寒い地域でもいろいろな工夫がされ、いろいろな生活が営まれているんだらうな。

社会科の授業中の4ポイント

し りょう

図、グラフ、年表などをみて、これらの資料から「気づいたこと」や「わかること」をとらえよう。

や ってみる

説明文づくり。わかりやすく学習したことを文や図などにまとめよう。やってみよう!

か んれんづけて

関連付けて、資料をみてみよう。

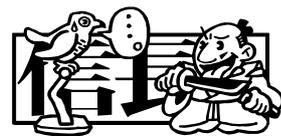
い ろんな角度

いろんな角度から、ものごとを考えてみよう。

社会科の家庭学習の3ポイント

ポイント1 復習に重点を置いて、書いて覚える

教科書をしっかり読み、ノートを見直して学習のポイントを確認します。重要語句や人物名は漢字で書けるように繰り返し書いて覚えましょう。



ポイント2 学習した内容をくわしく調べる

「なぜだろう?」「どういうことだろう?」という疑問をもって調べると、楽しい学習になります。図書館の本やインターネットなどを活用して調べることは、情報を集める力や情報をまとめる力をつけることにもなります。資料がほしいことを読み取りましょう。



ポイント3 学習したことを社会の動きと関連づける

社会科は、「人間の生活や社会の動き」を扱う教科です。新聞を読んだり、テレビやインターネットのニュースを見たりすることで、社会科の学習が好きになります。

数 学 科

中学生に聞きました！！「数学が楽しいのはどんな時？」

むずかしい問題が解けたとき！

数学の不思議を感じたとき。
「あれ？」「なんで！？」と思うようなことが起こったとき。



解き方をいろいろ考えているとき。ゲームみたい。

なぜそうなったか、わかったとき。

解き方がひらめいたとき！
とくにみんなと違う考え方で解けたとき。

これから学習する「数学」では、「算数」で学んだことを広げたり、深めたりします。

たとえば

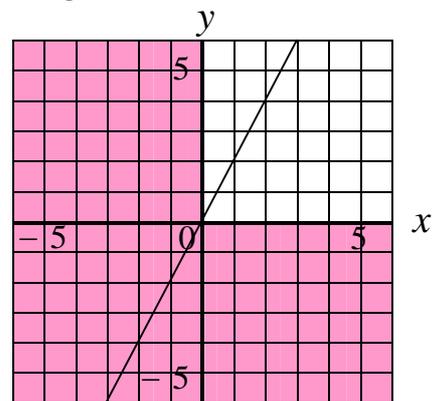
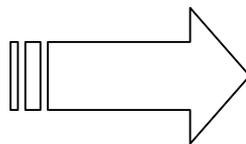
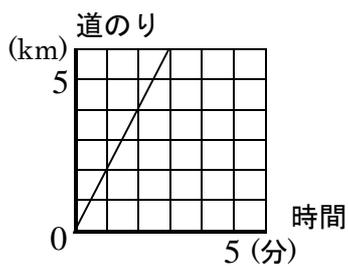
●「負の数」（0より小さい数）について学習すると、右のようなひき算やかけ算が解けるようになります。

① $5 - 7 = ?$

② $(-5) \times 6 = ?$

また、

●6年生で学習した「比例」のグラフも、範囲が広がって、0より小さいところまで書きます。



数学探偵団募集！！

数学の謎を解く探偵団になろう！！

「数学の力」は計算だけではありません。何でかな？と「考える力」や考えたことを友達に「説明する力」や「表現する力」も大切です。

みんなも数学の謎を解く名探偵になろう！



< 授業の受け方 >

① 先生や友達の話を書くときは、作業を止めて聞こう。

えんぴつを置いて、説明の意味を考えながら聞こう。

② 自分の考えを積極的に発表しよう。

自分の考えを発表して、みんなに聞いてもらおう。

※ 理由も一緒に発表しよう！！

③ ノートの使い方を工夫しよう。

まちがえたところは消さずにとりかき直すと、同じまちがいをくり返さないようになるよ。まちがえた理由もメモしておくと、テスト勉強に役に立つよ。



< 家庭学習の仕方 >

① 例題をうつそう！

問題がわからないときは、教科書の例題の解き方をノートにうつしてみよう。例題には、解き方やとちゅうの式が書いてあって、問題を解くためのヒントがいっぱいあるよ。

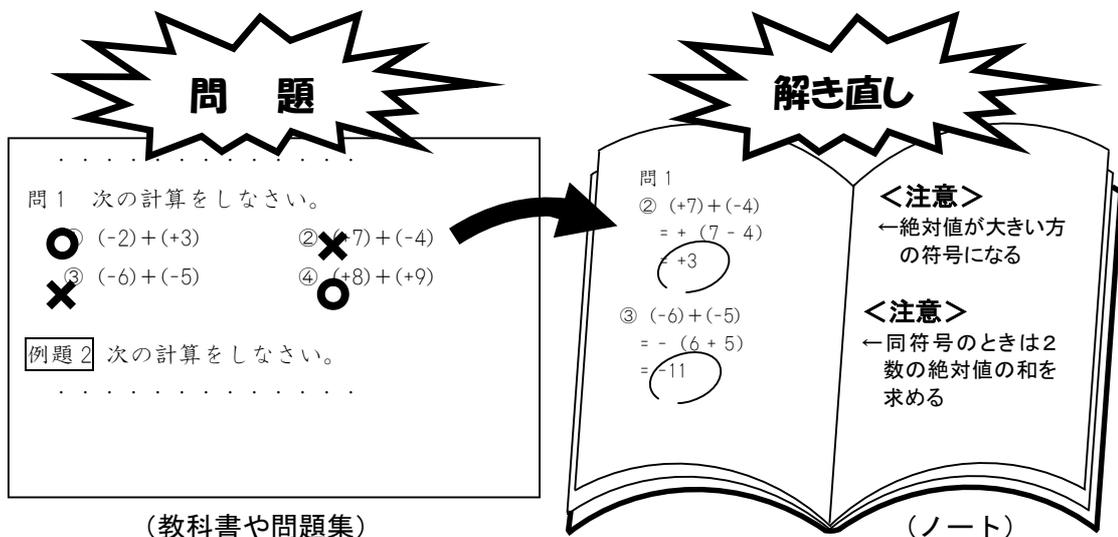
② まちがえた問題を解き直そう！

(とくにテスト前にオススメ)

教科書や問題集の問題(特にまちがえた問題)をくり返しノートに練習しよう。

何度もくり返し解くことで弱点を克服できるよ！！

※ 一度やってみた問題に、できたものには ○ できなかったものには ✕ をつけておくといいよ。





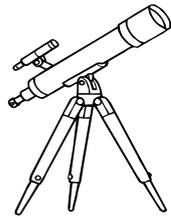
理科



◆◆理科のおもしろさ◆◆

◆身の回りでおこる不思議なことがわかるようになる◆

- *なぜ、植物はご飯を食べないのに大きくなるの？
- *なぜ、プールに入ると体が軽くなるの？
- *なぜ、夜店で売っている風船は浮かぶの？



◆普段見られないものを見ることが出来る◆

- *小さな生き物を顕微鏡で見てみよう！
- *遠くの星を望遠鏡で観察してみよう！

◆今を調べて過去や未来を知ろう！◆

- *地層や化石を調べて過去を知ろう！
- *雲の動きを見て明日の天気を予測しよう！



身の回りの現象は、すべて理科で説明が出来る！？

◆◆理科の学習の流れ◆◆

①なんだろう？

②よく見る

③調べる・確かめる



⑤生活に役立てる 《応用》

④きまりを見つけ出す 《法則》



◇◆授業で身につけてほしいこと◆◇

(1) 自然の現象をよく観察する。

- 特ちょうをつかんでスケッチをしましょう。
- 実験や観察の状況をしっかり見ましょう。



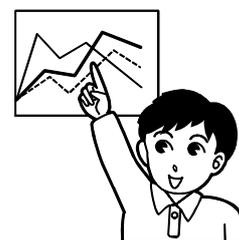
(2) 不思議な点やおもしろい点を見つける。

- 実験や観察の結果、または資料の中から「なぜ?」「どうなっているんだろう?」「すごい!」などの? や! を見つけましょう。



(3) 実験や観察で、たしかめる。

- 目的に応じた準備をして、実験や観察をしましょう。
- 実験や観察の結果をきちんとまとめましょう。



(4) きまりや法則を見つける。まとめたり、発表したりする。

- 実験や観察の結果を比べて、表やグラフにしましょう。そして、きまりや法則を見つけましょう。
- 結果を見て、自分の意見や考えをまとめたり、発表したりしましょう。

(5) 生活と関連づけて考える。活用する。

- 用語を理解して、日ごろの生活のどのようなことと関係があるのか、考えましょう。

◇◆家庭学習の大切なところ◆◇

①新しく出てきた用語の意味や器具・薬品の使い方を、書いて覚えましょう。

②大事なポイントなどをノートに整理しましょう。

例えば、重要な図は、自分で書いて理解しましょう。また、図や表の見方や考え方、グラフの意味などをまとめておくとテスト前の見直しに役立ちます。

③テストなどでまちがえたところをやり直して、同じまちがいをくり返さないようにしましょう。



音楽科



音楽を学習する楽しさって？

中学校で学習する教科の中で、「音楽」だけ「楽」の文字が入っていますね。音楽には、落ち込んだときに元気をもらったり、うれしいときに、さらに楽しい気持ちになったりする力があります。そんな、音楽のすばらしさを、授業を通してみんなで見つけ、味わい、表現する活動が、「音楽」を学習する楽しさなのです。

音楽の授業では…



表現の活動

- ・曲のイメージを大切に歌います。
- ・楽器の演奏をします。中学校では、アルトリコーダーや和楽器〔箏（こと）や和太鼓（わだいこ）など〕も演奏します。
- ・創作活動もします。あなたのイメージを音にしてみましょう！



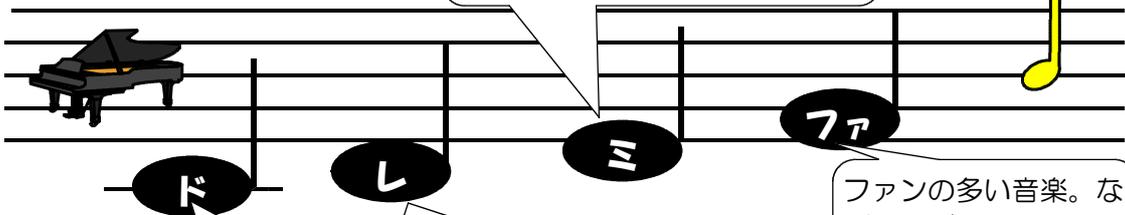
鑑賞の活動

- ・有名な作曲家がつくった作品や民族音楽などいろいろな音楽にふれます。
- ・曲を聴いて思ったこと、感じたことを文章に書いたり絵を描いたりします。



授業の受け方

みんなで気持ちよく音楽に取り組む雰囲気をつくりましょう。いつも心に歌声を！



どんなときも教科書やリコーダーなどを用意して忘れ物がないようにしましょう。

練習は大切！一生懸命に取り組み、自分を表現して磨き合ひましょう。「個人・グループ・ペア」などいろいろな学習の形があります。

ファンの多い音楽。なぜ、すばらしいのか？なぜ美しいと感じるのか？その理由を考えてみましょう。歌い継がれ、聴き継がれている理由があります！

学習の仕方

- (1) 音楽の授業の時間だけではなく、家庭でも学習した曲を歌ったり、演奏したりしてみましょう。
- (2) 授業で出てきた記号などは、もう一度復習しておきましょう。
- (3) 鑑賞でとりあげた作曲家については、学習したことをまとめておきましょう。他の作品を聴いてみるのもおすすめです。



美術科

美術の楽しさ・おもしろさってなんだろう？



○美術の学習は、大きく分けると

①絵を描いたり、粘土や木などでつくったりする「表現」

の学習があり、少し専門的に言うと、**絵画や彫刻、デザインや工芸**というものを学習します。

②いろんな「美」を学び吸収したり、美術作品を見て感じたことを話し合ったりすることで、**美しさを感じとる「鑑賞」**の学習があります。

○何かをやりとげた後の「満足感」を感じたことがありますか？

絵をかいたり、ものをつくったりすることもこれと同じです。

美術の勉強で「**つくり出す**」ということの楽しさ、おもしろさ、そして喜びを見つけてほしいと思います。

みんなそれぞれに個性があり、それが作品の**魅力**になるのです！

①【表現】表現方法はいろいろあります。

最も大切なのは、**気持ちを込めて**つくることです。

そうすることで、できた作品には必ず、「**自分らしい魅力**」が現れます！



②【鑑賞】見ることは感じることです。そして考えることでもあります。

友だちの作品や参考作品を見て自分なりの感想をもったり、感じたりしたことをまとめて発表したりすることで、**いろんな「美」**を受け入れられる量を増やしていきましょう。きっとすてきな世界が広がりますよ。

「美は見る者の目にやどる。」という言葉があります。

◎どれだけ美しいものでも、見る人に「心」がなければ、美しいとは感じられません。

「美」を**つ**くり出すのは私たち自身です。



保健体育科

どうして保健体育を学ぶの？

中学生の時期には、身長がのびたり体重が増えたりするとともに、運動能力や体力がめざましく発達する時期です。

この時期にいろいろなスポーツに親しみ、知識や技術を学び自分の可能性にちょうせんしみんなで楽しく、はげましあっていくことで、心も身体もさらに大きく成長していくのです。

また、自分の身体を知ることにより、将来にわたり健康・安全に生活できるような力を身につけていきます。

授業ではこんな事に取り組みます！

個人競技（陸上・水泳・器械運動・武道など）

- 種目の基本的な動きを学び、くり返し練習することによって、**できないことができる**ようになったり、**記録がのびたり**することで、スポーツの楽しさや、喜びを感じることができます。



集団競技（バレーボール・サッカー・バスケットボールなど）

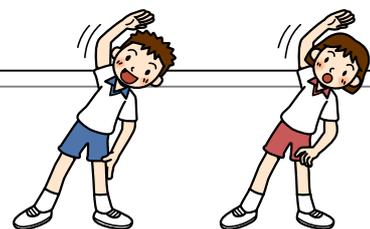
- 個人の技能を高めながら、**チームで練習**をし、作戦をねりながらミニゲームや試合にのぞみます。友達と**協力して取り組む**ことの喜びや達成感を味わうことができます！

保健

- 健康に必要な知識や技能を身につけます。また、自分の健康について真剣に考え、日常生活を見直していきます。

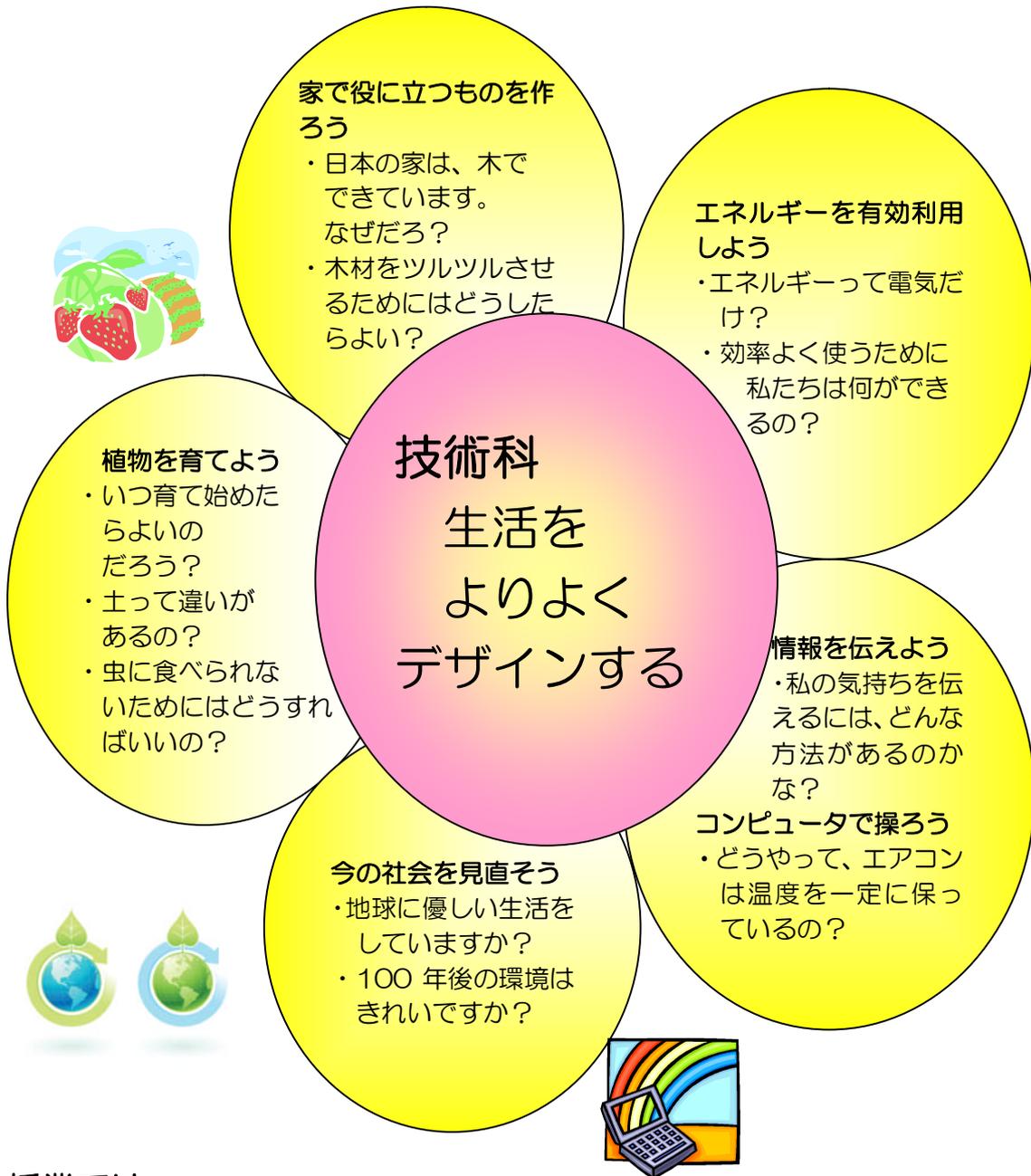
授業の受け方と自分でできること

- ★ 各学校で決められた服装で授業を受けましょう。また、学習プリントや資料を忘れないようにしましょう。
- ★ 授業が始まる前に連らくされた場所（体育館や運動場）に集合しましょう。
- ★ 体育では体力を使うので、朝食や水分をとる、十分なすいみんをとるなど健康に注意して授業を受けましょう。（熱中症に注意しましょう）
- ★ けがや病気で見学をする場合、保護者からの見学願いを準備してください。
- ★ 授業中は用具のあつかい方やルールを守り、ケガや事故のないよう安全面に、十分気を配って活動しましょう。



技術・家庭科(技術分野)

技術科では、先人たちの汗の結晶（技術）を学びます。そして、学んだことをもとに、今および未来の“生活をよりよくデザイン”します。



授業では・・・

体験的な学習が多くあります。そのため「安全」に十分に気をつけましょう！

家庭学習は・・・

授業で学んだことを生活の中で活かしていくことが大切です。
保護者と相談し、やってみよう！

技術・家庭科(家庭分野)

「自立するために」～生活に役立つ家庭分野～

あなたは1人で食事を作ることができますか。服を自分で洗えますか。
家族や周りの人とかかわりながら、家庭分野の学習を通して、自分でできることを
どんどん増やしていけたらすてきですね。



きれいに洗えたよ。 料理のレパートリーが増えました。 こんな部屋、すてきだね。



お金って大事だね。

私も家族の一員なんだね。

授業では・・・

学んだことを実際に体験したり、実習を行ったりします。失敗を恐れず、ねばり強く取り組んで、できることを増やしていきましょう。

家庭では・・・

授業で学んだ知識や技術に自分なりの工夫を加えながら活用しましょう。

つまり、生活のすべてが家庭分野の学習です！

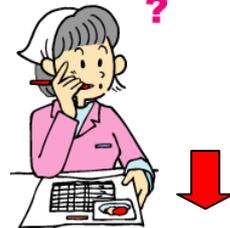
①授業で学ぶ。



②家でこんな事があった。
1人で留守番！



③食事はどうしよう。
?



⑥次はこんなことも
やってみよう。
お弁当に挑戦！



⑤できたよ。
おいしいかな？



④そうだ！やってみよう。



英語科

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ ABCDEFGHIJKLMNOP

英語学習の楽しさ・おもしろさ

①外国の人とコミュニケーションがとれるようになる！

自分の英語が通じたときや相手の英語を理解できたときは、とても嬉しいものです。ALTの先生や英語の先生に積極的に英語で話しかけましょう。

②生活の中での英語がわかるようになる！

英語の歌や映画、生活の中で見かける英語の意味がわかるようになります。日本のマンガが英語版で出版されているものもありますので、楽しみながら学ぶことができます。

③英語の学習を通して、いろいろな国のことを知ることができる！

外国のことを知ると、日本のことを改めて考えるようになります。日本と外国を比較しながら深く考えてみるチャンスを与えてくれます。

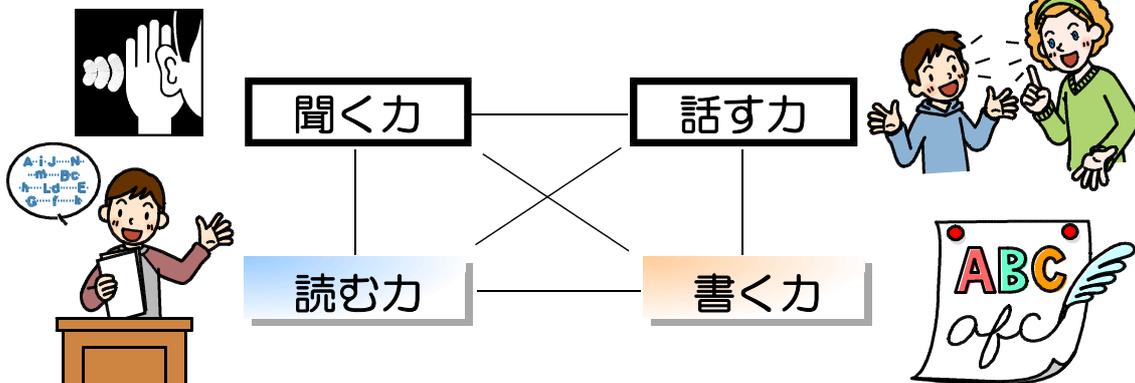
④国語の力が改めて身に付く！

英語は言葉を学習する教科です。人に何かを伝えることを学習する教科であるのは国語も同じです。英語を学習すると国語の力も高まります。

「外国に行かないから英語は必要ない」ではなく、日本にいても世界とつながることができる道具（英語）を活用できるようになろう！

【英語に必要な力】

太枠で囲まれた「聞く力」「話す力」は、小学校の外国語活動で取り組んできたところです。中学校ではこれに加えて「読む力」「書く力」を身に付けるための学習もします。4つの力をバランスよく学習しましょう。



【授業でのポイント】

- ①忘れ物をしないようにしましょう。
- ②集中して英語を聞きましょう。
- ③正確にノートに写しましょう。
- ④間違ふことは恥ずかしいことではありません。
積極的に英語で話しましょう。
- ⑤英語を読むときには大きな声で読みましょう。



☆中学校の英語の授業は次のように行われます。☆
☆家庭学習と関連させて行いましょう。☆

【授業の流れ】

☆教科書の内容を学習します。

- ・単語の発音
- ・単語の意味の確認
- ・本読み
→発音とつづりの関係を覚えながら読みましょう。
- ・本文の意味の確認 など



【家庭学習のポイント】

☆授業の前に予習をします。

- ・ノートに単語と本文を写す。
- ・単語の意味を調べる。
- ・単語の練習をする。 など



☆本読みをします。

- ・大きな声を出して暗記するくらいくり返し読む。
- ・日本語の意味を同時に思い浮かべながら英文を音読する。



☆英語のきまりを学習します。

- ・英語のきまりの確認
- ・コミュニケーション活動 など

☆復習をします。

- ・ワークを解く。
- ・家庭学習ノートを活用して学習内容をまとめたり、ワークの問題を写して解いたりする。
間違ったところをくり返し練習する。

☆テスト前☆

- ・ノート、ワーク、ファイルを使って、テスト範囲の学習内容をふり返りましょう。
- ・テスト範囲の単語や基本文を確実に書けるように、何度も書いて練習しましょう。



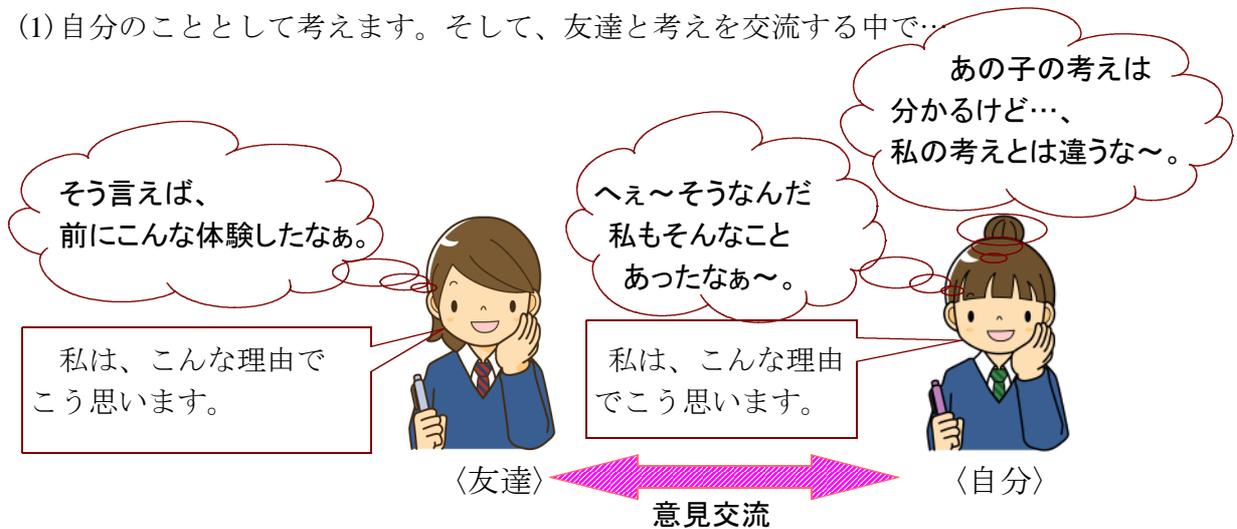
道徳

道徳の授業は

- 資料に描かれている登場人物の生き方について話し合うなどして、自分を振り返る時間です。
- 思いやり、友情、正義、生命の尊重など、人として大切なものを自分の中で育てていきます。

道徳の時間で大切なことは

(1) 自分のこととして考えます。そして、友達と考えを交流する中で…



- 自分と違う意見があること、自分の意見と友達の意見が同じでも、その理由は違う場合もあることが分かります。
- 友達の考えと自分の考えを比べて、自分自身を見直します。



(2) 授業の最後では、自分自身でこれから行なっていきたいことや、大切にしていきたいことをまとめます。

- 道徳の時間で考えたことを普段の生活だけでなく、各教科の授業や総合的な学習の時間、学校行事などでも生かしていきましょう。

特別活動



学級活動



- ・よりよい学校生活にするために、学級の委員や係の仕事分担を決めたり、学級のいろいろな問題について話し合っ解決したりします。
- ・みんなで、一人ひとりの悩みや不安について考えていくのも学級活動の時間です。
- ・自分の個性を見つけ、いろいろな学校や仕事のことを調べ、中学卒業後の進むべきみちについて学習していきます。



生徒会活動



学校行事

- ・小学校の児童会活動を中学校では生徒会活動といいます。
- ・中学校の生徒全員が生徒会のメンバーです。みんなも生徒会の一員として、生徒総会やボランティア活動に参加します。

- ・入学式や卒業式、修学旅行、体育祭やマラソン大会、文化祭や合唱発表会など、同じ目標に向かって、全校や学年で取り組みます。

特別活動を3倍楽しむ方法って？

⇒ (^_^) / 「はい、進んで参加することです！」

学級の問題も、生徒会活動も、行事も、先生や誰かがしてくれるのを待つのではなく、自分たちで考えたり、解決したり、つくり上げたりするところが、最高に楽しいのです。

学級や学年、学校の一員として、みんなで協力してがんばると、一人ではできないことができたり、一人では味わえないような感動を味わえたりします！

そして、それは、なんと、社会の一員として、よりよい生き方ができるようになることにつながっているのです！！

特別活動では「友達との関係づくり」「何事にも進んで取り組む態度」など、みんなのがんばいをしっかりと見て、応援していきます！





総合的な学習の時間



総合的な学習の時間でつきたい力

- 自分で課題を見つけ、自分で調べ、自分で考え解決していく力
- みずから進んで問題を解決したり探究したりする態度
- 自分自身をみつめ、将来の生き方について考える力

「総合的な学習の時間」で学習する内容の例（学習内容は学校により異なります）

・福祉に関わる学習

お年寄りとの
交流など



・生き方に関わる学習

職場体験学習
など



・他にも
環境問題
国際理解
などの
テーマ

見つける

- 1 テーマを発見しよう
- 2 学習の計画を立てよう



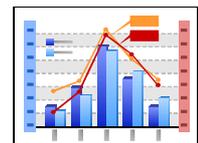
調べる

- 1 本や新聞を使って調べよう
- 2 コンピュータを使って調べよう
- 3 取材をしてみよう
- 4 体験学習をしよう



まとめる
発表する

- 1 調べた情報を分析し、グラフや図文章、プレゼンでまとめてみよう
- 2 発表会をしてみよう
(発表しよう・友達の話を聞こう)



行動する

- 1 学習したことをもとに自分にできることをやってみよう
- 2 地域のイベントや活動などに参加してみよう



私たちは、「地域」の中で生きています。「総合的な学習の時間」では、そんな地域の「ひと・もの・こと」の「かかわり」や「つながり」を大切にしていけます。学習したことを生活にいかし、行動にうつしてみましょ。そして、自分自身の生き方を考え、よりよい社会をつくっていきましょう。その中で、自ら学び、考えることができるようになればいいですね。みんなが協力することも忘れずに。まずは、「やってみること」からスタート。社会をつくる主人公は私たちです！